

No.76

2025年1月1日発行

京葉分会だより

KEIYOBUNKAIDAYORI

無事故の歳末 明るい正月

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会

www.kensaibo-keiyo.com

栃木県 華厳の滝

目次

目次	1
新年のごあいさつ 建災防京葉分会長	2
新年のごあいさつ 船橋労働基準監督署長	3
第29回京葉分会建設業労働災害防止大会	4
「創立60周年記念」全国建設業労働災害防止大会	5
労働基準監督署からのお知らせ	6
労働基準監督署からのお知らせ	7
労働基準監督署からのお知らせ	8
優良事業所見学会	9
建設現場安全パトロール	10
令和6年度千葉県建設業労働災害防止大会	11
特集:冬に温まろう全国のおでん特集	12
特集:女性経営者座談会 Vol.7	13
お店紹介	14
雑感	15-1
事務局からのお知らせ	15-2

新年のごあいさつ

分会長
高山 貴子

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当分会の運営につきまして、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当分会は昨年、通常総会、全国安全週間及び全国労働衛生週間の説明会、県外優良事業所見学会など、会員をはじめとする多くの関係者の協力を得ながら、多くの事業を実施することができました。

また、各種表彰関係では、10月に東京ビッグサイトで開催された全国建設業労働災害防止大会(創立60周年記念大会)や、11月に浦安市で開催した当分会の「第29回建設業労働災害防止大会」において、優良な安全成績を取めた事業所そして個人を表彰し、受賞者の皆様の労働災害防止に向けた積極的な活動に改めて敬意を表させていただきました。

さらに、当分会ではその他の活動として、昨年も管内の各市(市川市・船橋市・浦安市・習志野市・八千代市)に対し、公共工事等における入札参加の際、発注者から当分会員へ加点等が受けられるよう要望してまいりました。

さて、建設業は、地域のインフラ整備や経済活動を支え、災害時には生命と財産を守る重要な役割を担っております。しかしながら、昨今、技術者・技能者の高齢化と若手入職者の減少から人材不足が喫緊の課題の一つとなっており、その解消に向けて働き方改革の推進や労働水準・待遇の改善などが急ピッチで進められております。

一方、建設業における労働災害は関係各位の地道なご努力により、長期的には減少傾向にありますが、建設業の死亡災害が依然として全産業の中で一番多い業種であることには変わりなく、建設業が活力と魅力のある産業として、今後も更なる発展を遂げるためには、これまで以上に安全で安心して働くことのできる魅力ある職場環境づくりが非常に重要となってきます。

当分会では、更に労働災害を減らすため、より多くの事業者には技能講習や安全衛生教育を実施している建災防に加入して頂き、千葉労働局などが実施する説明会への参加や法改正への対応など、いち早く情報を入手して頂くことにより、労働災害防止へと繋げることができると信じております。

そのような中、本年におきましても、労働災害防止に向け積極的な活動をして参りますので、会員の皆さまには今後ともご協力を頂き、引き続き「死亡事故ゼロ並びに無事故・無災害」を目標に掲げていく所存であります。

最後に、本年も関係各社の皆様方の益々のご健勝とご発展を、さらには安全で安心できる明るい年となることを心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会並びに会員事業場の皆様方におかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、船橋労働基準監督署の業務運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も旧年同様どうぞよろしくお願いいたします。



船橋労働基準監督署
署長 塩田 康夫

さて、昨年の労働災害の発生状況に関してですが、建設業における当署管内での休業4日以上災害は、新型コロナウイルス感染症によるものを除き11月末時点での速報値で106人と前年同期と比較して19人増(+21.8%)となっております。

そのうち死亡災害は、建設業において昨年の2月に1人の尊い命が失われましたがその後は発生しておりません。当署管内での全業種における死亡災害が11月末時点で7人であることは、皆様方が労使一丸となって安全衛生活動を一つひとつコツコツと取り組んだ成果の表れであると思っており、この場をお借りして感謝申し上げます。

建設現場における労働災害は重篤な災害につながりやすく、多種多様な作業が行われている実態や特性を的確にとらえたりスクアセスメントの実施に基づいた安全衛生対策が求められることから、今年も引き続き労働災害の発生等に応じた労働災害の防止を進めてまいります。

また、昨年4月から時間外労働の上限にかかる規制が建設業にも適用され、法令の趣旨・内容の理解を促し、もって長時間労働抑制等に向けた自主的な取り組みを促進しております。

そのため、今年も労働時間相談・支援コーナーでの相談対応を行うほか、取り組みが遅れがちな中小企業などの事業場を個別に訪問するなど、引き続ききめ細やかな支援に努めてまいります。

さらに、作業員の高齢化や日本全体で少子高齢化が進んでいる等が建設業の人手不足につながっていると言われておりますが、未来の担い手の確保のためにも現場の週休2日を踏まえた適正な工期設定、工期ダンプの禁止や千葉県最低賃金の遵守を踏まえた適切な労務費の確保など働きやすい労働環境の改善に向けた見直しの必要性について、引き続き発注者等に理解と協力を呼び掛けてまいります。

今年巳年です。しなやかな蛇のようにどんな困難も乗り越え「安全で健康にはたらくことができる職場環境」を実感できる年になりますよう、また貴会のさらなるご発展と会員事業場の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

第29回京葉分会建設業労働災害防止大会



11月15日、浦安市内のオリエンタルホテル東京ベイにおいて「京葉分会第29回建設業労働災害防止大会」が盛大に開催された。

開会に先立ち、労働災害で亡くなった方々に黙祷を捧げた。続いて、周郷大会実行委員長による開会のことばの後、主催者を代表して高山分会長は「建設業における死亡災害は依然として全産業の中で一番多く、建設業が活力のある産業として今後も更なる発展を遂げるためには、魅力ある職場環境づくりが非常に重要となってくる。今年度のスローガンである『仲間の声で危険を防ごう 未来へつなぐ職場の安全』を念頭に労働災害防止活動の大切さを再確認し、災害ゼロを達成するために尽力することを誓う。」と声明した。

次に来賓を代表して塩田康夫船橋労働基準監督署長、松戸徹船橋市長、田中甲市川市長、宮本泰介習志野市長、服部友則八千代市長、内田悦嗣浦安市長、古橋保孝千葉県葛南土木事務所長、堀内利男建災防千葉県支部専務理事、船越博文(一社)千葉県建設業協会副会長が祝辞を述べた。

続いて、年間無災害事業場表彰が行われ、船橋市9社、市川市3社、浦安市2社、習志野市2社、八千代市1社の計17社が受賞し、受賞者を代表して高根建設(株)の石神千谷代表取締役が謝辞を述べた。



その後、駒田大会副実行委員長により「労働災害は本来あってはならないものであることを今一度認識し、安全衛生管理計画を樹立、実行し、真摯に労働災害防止活動に邁進しなければならない。本大会を契機として、労働災害の撲滅に総力を挙げて取り組む。」と力強く大会宣言が読み上げられた。



続く特別講演では、元サッカー日本代表で現ブリオベッカ浦安監督の都並敏史氏を講師に迎え『サッカーにおける危機管理』をテーマに、じゃんけん大会も織り交ぜつつ、細かすぎる要求や命令形の指示は時として逆効果になることもある等、危機管理に関するとてもためになるお話をしていただいた。

最後に、小原大会副実行委員長により閉会のことばが述べられ、終始とても良い雰囲気の中で大会は幕を閉じた。

「創立60周年記念」全国建設業労働災害防止大会

建設業労働災害防止協会(建災防、今井雅則会長)と建災防東京支部(松井隆弘支部長)共催の、創立60周年記念「全国建設業労働災害防止大会」が10月3日、東京ビッグサイト(江東区有明)で開催された。「仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全」を大会スローガンに4日まで開かれ、講演や安全衛生などに関する研究発表、安全衛生功労者への表彰が行われたほか、保護具や安全標識なども展示された。全国から関係者が集まる中、当分会からも高山分会長をはじめ、多数の会員が参加して労働安全衛生について学び、安全な職場に向けてさらに意識を高めた。

大会初日、約4,500人が参加した総合集会の冒頭、今井会長が主催者代表のあいさつに立ち、「建設業の労働災害は長期的に見れば減少傾向にあり、年間死亡者数も建災防が創立された60年前と比べれば約10分の1と大幅に減少しているが、建設業の死亡災害は全産業の約3割を占め、依然として一番多い」と現状を危惧。その上で「建設業が憧れの産業として今後も安定的に発展するためには、建設工事に従事するすべての方々が安全で安心して働くことのできる魅力ある職場環境づくりが非常に重要となる。本大会を契機に、より一層の労働災害防止活動へ尽力することを誓う」と決意を表明。

続いて、石破茂内閣総理大臣、福岡資麿厚生労働大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣、小池百合子都知事の祝辞が代読され、長年にわたる積極的な労働災害防止活動を称えとともに、労働災害の撲滅に向けた一層の取り組みに期待を寄せた。

また、大会実行委員長を務める松井支部長が「建設業における安全衛生水準をより一層向上させるとともに、皆さまにとって実りある大会になることを祈念する」と述べたのに続き、災害防止に多大な貢献を果たされた方々への各種表彰が行われた。

なお、当日、当分会からは、次の方が表彰されました。

受賞者 優良賞 川城建設株

福薬水道株

功労賞 千葉ロードサービス株 西原 勝徳 様

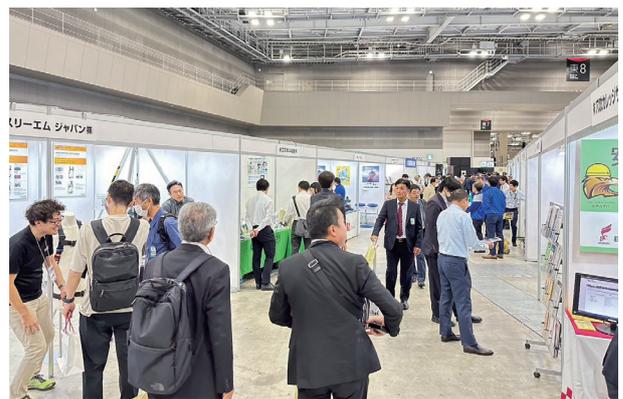
表彰に続き、建設労務安全研究会理事長で、大会副実行委員長の細谷浩昭氏から、「店社・作業所の安全衛生管理体制の確立および“墜落・転落災害撲滅キャンペーン”等をはじめとする三大災害防止

対策の実施」「リスクアセスメントの確実な実施と建設業労働安全衛生マネジメントシステム(コスモス)の導入促進」「建設現場におけるメンタルヘルス対策の定着と“新ヒヤリハット報告”の普及促進」「健康確保対策や高齢労働者の労働災害防止対策の推進」―を柱にした「安全の誓い」が宣言され、参加者一同は労働災害の撲滅に向けて決意を新たにした。

その後、厚生労働省労働基準局の井内努安全衛生部長が「労働安全衛生行政の動向について」をテーマに講演、和太鼓音楽集団「東京打撃団」によるパフォーマンス披露、脳科学者の茂木健一郎氏による「ワーク・エンゲイジメントを高めるための脳のつくりかた～不安全な判断や行動をしないために～」と題した特別講演と進み、1日目は盛会のうちに終了した。

2日目は、東京国際フォーラムほかで専門部会が開かれ、建築、土木、安全衛生教育、低層住宅、コスモス、メンタルヘルス、ICT―の各部会の会員企業などが、それぞれの取り組みや、成果をあげた最新の安全衛生管理活動などを発表した。今大会では新たに「60周年記念部会」が創設され、2024年問題をはじめとした、人手不足や職場環境改善等、建設業を取り巻く多様な問題が扱われた。

さらに大会開催期間中は、建設業労働災害防止協進会による「安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会」が同時開催された。最新の安全衛生保護具や測定機器など、カタログなどでしか目にする事ができなかった商品を実際に手に取り、メーカー等から直接説明を聞ける機会ということもあり、会場内は活気にあふれていた。



令和6年 業種別労働災害発生状況（休業4日以上）

（新型コロナウイルスによる疾病の発生状況）

船橋労働基準監督署

業種	区分	令和5年 (11月末現在)			令和6年 (11月末現在)			令和5年・6年 コロナ以外の同期比	
		総件数	コロナ 件数	コロナ 以外	総件数	コロナ 件数	コロナ 以外	増減	増減率
製造業	食料品製造業	62		62	73		73	11	17.7%
	繊維・繊維製品製造業	0		0	3		3	3	0.0%
	木材・木製品製造業	1		1	4		4	3	300.0%
	家具・装備品製造業	0		0	0		0	0	0.0%
	紙製造・印刷・製本業	10		10	9		9	▲1	-10.0%
	化学工業	13		13	10		10	▲3	-23.1%
	窯業・土石製品製造業	7		7	1		1	▲6	-85.7%
	鉄鋼・非鉄金属製造業	8		8	9		9	1	12.5%
	金属製品製造業	37		37	43		43	6	16.2%
	一般機械器具製造業	8		8	9		9	1	12.5%
	電気機械器具製造業	0		0	1		1	1	0.0%
	輸送用機械器具製造業	4		4	4		4	0	0.0%
	電気・ガス業	0		0	1		1	1	0.0%
	その他の製造業	23		23	24		24	1	4.3%
	小計	173	0	173	191	0	191	18	10.4%
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
建設業	土木工事業	19		19	20		20	1	5.3%
	建築工事業	48		48	56		56	8	16.7%
	木造家屋建設業(内数)	5		5	5		5	0	0.0%
	その他の建設業	20		20	30		30	10	50.0%
小計	87	0	87	106	0	106	19	21.8%	
運輸交通業	鉄道・水運業	7		7	10		10	3	42.9%
	道路旅客運送業	35	15	20	19		19	▲1	-5.0%
	道路貨物運送業	179		179	199		199	20	11.2%
	小計	221	15	206	228	0	228	22	10.7%
貨物取扱業	陸上貨物取扱業	68		68	50		50	▲18	-26.5%
	港湾運送業	2		2	2		2	0	0.0%
	小計	70	0	70	52	0	52	▲18	-25.7%
農林業	3	0	3	3	0	3	0	0.0%	
畜産・水産業	0	0	0	1	0	1	1	0.0%	
その他の事業	商業	208		207	204		204	▲3	-1.4%
	小売業(内数)	147		147	141		141	▲6	-4.1%
	新聞販売業(内数)	6		6	6		6	0	0.0%
	通信業	21		21	27		27	6	28.6%
	医療保健業	145	96	49	83	60	23	▲26	-53.1%
	社会福祉施設	178	77	101	222	94	128	27	26.7%
	接客娯楽業	202	2	200	233		233	33	16.5%
	旅館業(内数)	15		15	15		15	0	0.0%
	飲食店(内数)	65	2	63	74		74	11	17.5%
	ゴルフ場の事業(内数)	5		5	8		8	3	60.0%
	清掃・と畜業	61	3	58	78		78	20	34.5%
	ビルメンテナンス業(内数)	25		25	33		33	8	32.0%
	派遣業	19	3	16	10		10	▲6	-37.5%
	警備業	17		17	25		25	8	47.1%
	上記以外の事業	83	2	81	77		77	▲4	-4.9%
小計	934	184	750	959	154	805	55	7.3%	
総合計	1488	199	1289	1540	154	1386	97	7.5%	

千葉県内の建設業で働く皆様へ

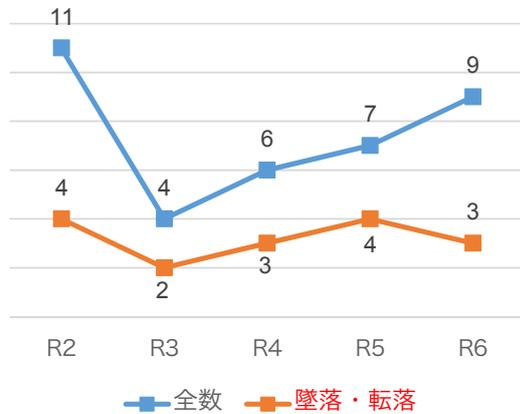
令和6年における建設業の労働災害発生状況と対策について

千葉県内の建設業にて、令和6年1月1日から9月30日までの期間で9人の労働者が死亡する労働災害が発生しています。事業者の皆様におかれましては、下表の同種災害をはじめ、全ての労働災害の減少に向け、事業場内の安全衛生活動の総点検をしていただくようお願いします。

業種	事故の型	災害発生状況	あなたの職場に類似の作業内容がありますか？
1 其他の土木工事業	転倒	法面復旧工事のため、車両系建設機械で大型土嚢を運搬途中、法肩から横転して地面と機械との間に挟まれた。	<input type="checkbox"/> ()
2 道路建設工事	墜落・転落	アスファルト舗装の打ち替え工事にて、コンパインドローラーで転圧作業中に、路肩から水路に転落してコンパインドローラーに挟まれた。	<input type="checkbox"/> ()
3 港湾海岸工事	激突され	浮きクレーンを係留するため、海底に突き刺す杭を当該クレーンで吊り上げ、杭の固定用ピンを引き抜こうとしたところ、当該固定用ピンが跳ね上がり激突した。	<input type="checkbox"/> ()
4 上下水道工事	崩落・倒壊	下水管交換のため、深さ2mの掘削溝に入り作業を行っていたところ、掘削溝の側面が崩落した。	<input type="checkbox"/> ()
5 其他の土木工事業	墜落・転落	立木に登りチェーンソーを用いて枝の伐採後、高さ5mの位置から地面に墜落した。	<input type="checkbox"/> ()
6 其他の建設工事業	墜落・転落	屋根改修工事において、高さ約7mの屋根上面で作業中、屋根材を踏み抜き墜落した。	<input type="checkbox"/> ()
7 機械器具設置工事業	高温・低温の物との接触	熱交換器の部品交換中、約200℃の軽油が噴出し同作業に従事していた者のうち1名が火傷を負い、死亡した。	<input type="checkbox"/> ()
8 電気通信工事業	崩落・倒壊	高さ約8mの立木の伐木作業中、根元部分に切れ込みを入れたところ立木が倒れ、同作業者に激突した。	<input type="checkbox"/> ()
9 機械器具設備工事業	爆発	タンクの床板改修工事にて床板の溶接を開始したところ、タンク内で爆発が発生した。溶接開始前、タンク内を引火性物質が含有されている洗浄剤で洗浄していた。	<input type="checkbox"/> ()

※ 作業内容を確認し、類似の作業内容があるか確認しましょう。
類似の作業内容がある場合は、改めてリスクアセスメントを実施し作業計画等を見直してください。

【9月末時点における建設業の死亡災害】



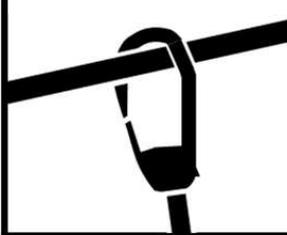
【労働災害防止ピクトグラム】

建設業の労働災害の原因となっている事項をピクトグラム化しました。ピクトグラムは千葉労働局HPに掲載しておりますので、画像をダウンロードして、ご活用ください。



ハーネス着用

ハーネスの着用が必要な箇所である旨標示しましょう。



ハーネス使用箇所

ハーネスが必要な箇所である旨標示しましょう。



資格証・携帯

資格が必要な仕事では、必ず資格を取得し携帯しましょう。



過荷重吊り禁止

吊り荷に見合った能力を持った機械を選定しましょう。

直近5年間における建設業の死亡災害発生状況を見ると、実に3分の1強が墜落・転落災害となっています。

墜落・転落災害と言うと、高所からの墜落が最多を占めていますが、車両系建設機械ごと転落し同機械と挟まれて死亡する災害も増加しています。

高所からの墜落災害防止対策として、フルハーネス型墜落制止用器具等の使用徹底をご確認ください。

車両系建設機械の転落災害防止対策として、作業現場に見合った作業計画書の作成、及び計画どおりの作業遂行を行きましょう。

ピクトグラムは千葉労働局HPへ



千葉労働局 各労働基準監督署

(R6.10)

事業主の皆さまへ

労働者死傷病報告の報告事項が改正され、 電子申請が義務化※されます

令和7年（2025年）1月1日施行

労働者が労働災害等により死亡し、又は休業したときには、事業者は所轄の労働基準監督署に労働者死傷病報告を提出しなければなりません（労働安全衛生規則第97条）。

今般、労働者死傷病報告の報告事項について、災害発生状況をよりの確に把握すること等を目的として、以下のとおり改正します。

※ 経過措置として、当面の間、電子申請が困難な場合は書面による報告が可能です。

主な改正内容

これまで自由記載であった①、②、③、⑤について該当するコードから選択できるようになり、④については留意事項別に記入できるように記入欄が5分割されました。

The image shows a screenshot of the '労働者死傷病報告' (Laborer Death, Injury, and Disease Report) form. Red boxes and callouts highlight the following areas:

- ①** Points to the '事業の種類' (Type of Business) field, which is a grid of boxes for selecting a business category.
- ②** Points to the '被災者の職種' (Occupation of the Affected Worker) field, another grid for selecting an occupation.
- ③** Points to the '傷病名及び傷病部位' (Name and Part of Injury/Disease) field, which is a large text area for describing the injury.
- ④** Points to the '災害発生状況及び原因' (Disaster Occurrence Status and Cause) field, which is divided into five columns for detailed reporting.
- ⑤** Points to the '国籍・地域及び在留資格' (Nationality, Region, and Status of Residence) field, a grid for selecting these details.

①事業の種類
日本標準産業分類から該当する細分類項目を選択してください。
(例) 製造業>食料品製造業>水産食料品製造業>水産缶詰・瓶詰製造業

②被災者の職種
日本標準職業分類から該当する小分類項目を選択してください。
(例) 生産工程従事者>製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)>食料品製造従事者

③傷病名及び傷病部位
該当する傷病名及び傷病部位を選択してください。
(例) 傷病名:負傷>切断
傷病部位:頭部>鼻

④災害発生状況及び原因
5つの記入欄にそれぞれ記入してください。

⑤国籍・地域及び在留資格
該当する国籍・地域及び在留資格を選択してください。

※電子申請義務化に伴う略図の取扱いについて
従前の手書きでの作成とは異なり、イラスト等の「略図」のデータを添付してください。「略図」を手書き等で作成後、携帯電話等で写真を撮ってそのデータを添付していただいても構いません。

電子申請には、「入力支援サービス」をご活用ください。

優良事業所見学会 ～JERA横須賀火力発電所～

令和6年12月12日(木曜日)建災防京葉分会の優良事業所見学会が行われ、冷え込みは厳しいながらも澄み渡った師走の空の下、分会長以下会員24名と多くの方々が参加しました。

JERA(ジェラ)とは、東京電力と中部電力との合弁企業であり、日本国内の火力発電・ガス事業を中心に燃料の上流開発・調達・輸送から火力発電所の建設・運営までを手掛ける総合エネルギー企業です。

因みにJERAという社名は、Japanの頭文字、energyの頭文字に、era(時代)という語を組み合わせたもので、「日本のエネルギーを新しい時代へ」という意味が込められています。

今回訪れた横須賀火力発電所は、山と海に囲まれた風光明媚な三浦半島の東岸に位置し、自然環境に配慮、最新鋭の設備の導入や地域共生に取組みを推進し、2023年に世界最高レベルの効率を誇る石炭火力発電所として再構築されました。

発電所到着後コントロールルームにて、担当職員から場内における注意事項及び発電所の概要を動画視聴した後に、2班に分かれて見学を開始しました。

初めに当発電所の心臓部である蒸気タービンを見学。

3000回転/分という巨大なタービンに圧倒されましたが、静粛性が保たれ担当職員の説明も違和感なく聞き取れることができました。

次はエレベータに乗込み移動「微粉炭機」を見学。

微粉炭機とは、ボイラー内での石炭の燃焼効率を良くするため、石炭を微粒子上になるまで粉碎し、バーナーへと供給する機械設備です。(通称:ミル)

当発電所では、石炭供給量45t/hの微粉炭機が常に5台稼働し、ボイラを燃焼させています。

燃焼した石炭の排ガスは、脱硝装置、脱硫装置を経由し排炎のクリーン化を図った後に排出されると共に、燃焼灰は、コンクリートや石膏ボード等の原材料として再利用されているとのこと。

見学終了後、コントロールルームに戻り質疑応答を行う中で、当発電所の石炭使用量は1万t/日、貯炭量は10万t、全てを輸入に頼っているとのこと。

発電量は総出力:130万kW(約40万世帯分に相当)では

ありますが、原発1基分と同レベルとの説明がありました。

改めて日本が抱えているエネルギー問題

- ① エネルギー自給率の低さ
- ② 化石燃料依存度の高さ
- ③ 再生可能エネルギーの普及の遅れ

原発の再稼働を含め、皆で考えていく良い機会と感じた見学会でありました。



蒸気タービン



微粉炭機



♪屋上(地上80m)にて集合写真♪

令和6年度 千葉県建設業労働災害防止大会

令和6年度千葉県建設業労働災害防止大会が全国安全週間後、7月8日に京成ホテルミラマールにて開催されました。

大会は、労働災害において尊い命を失った物故者に対する黙祷の後、松本信夫副支部長による開会宣言で盛大に開会されました。

戸邊昌之支部長の挨拶では、来場者へは業務運営への協力の御礼、受賞者へは日頃の安全衛生管理の実績を評価すると共に祝辞を述べ、優れた知識、経験を次世代の育成に繋げてほしいとし、昨年の死亡災害は10件、残念ながら2年前からの一桁より多くなっており、昨年4月から国は第14次労働局労働災害防止計画を、県災防は第9次建設業労働災害防止計画をスタートさせたとなりました。この第9次計画では第8次計画期間の死亡災害平均件数に対して15%以上の減少とする目標を掲げ、千葉県では平均死亡件数8件以内とする目標にしているが、本年はすでに6件の死亡災害が発生しており、残り半年、予断を許さない状況になっていると警鐘を鳴らしました。参加者には死亡災害の撲滅に向けてより一層の尽力を求めると共に、今後の酷暑期を迎えての熱中症対策、集中豪雨対策等、屋外産業の宿命を抱えている事への再認識を呼びかけました。

来賓を代表して岩野剛千葉労働局長が祝辞を述べたほか、熊谷俊人千葉県知事、神谷俊一千葉市長、今井雅則建設業労働災害防止協会長からのメッセージがそれぞれ紹介されました。

表彰式において、本分会から千葉県支部長表彰優良賞(会社)として、櫻工営株式会社、功労賞として千葉建設株式会社・澁谷保治、千東建設株式会社・田口孝一(敬称略)、3社が受賞となりました。

受賞者を代表として福井電気株式会社・八木信行氏の謝辞の後、大会宣言が高らかに宣言されました。

休憩後に合同会社ソナエルワークス代表・備え・防災アドバイザー高荷智也氏の特別講演が行われ、テーマ:「想定外を想定内に」～地震・水害・噴火・感染症、想定されている日本で生じる自然災害を知る～をサブテーマにパワーポイントを使用し、それぞれへの情報収集方法、たとえば、「重ねるハザードマップ」の使用など対応策をレクチャーし、正しい防災とは死なずに無事避難所へたどり着くことが重要であると、被災時の考え方の方向を示してくれたことを学んだ後、閉会となりました。





冬に温まろう全国のおでん特集

今年のおでん

冬の寒さが一段と厳しくなり、温かい料理が恋しくなる季節。そんな時にぴったりなのが『おでん』です。長時間煮込まれた具材が、だしの味をしっかりと吸い込み、体も心もほっこりと温まります。この冬『全国のおでん特集』で、寒さを忘れるような温かいひとときをお楽しみください！

北海道のおでん

- **特徴:** 寒冷地らしい濃厚な味わいと大きめの具材が特徴。
- **出汁:** 昆布がメインで、醤油の使用は控えめ。
- **具材:** 大根やじゃがいもが定番。鮭やタラ、タコなど海産物が具材として使われることも。



関東地方のおでん

- **特徴:** 「関東炊き」とも呼ばれることがあり、醤油を主体とした濃いめの出汁が特徴。
- **出汁:** 鰹節や昆布をベースに、濃口醤油を使用。
- **具材:** 大根、こんにゃく、玉子、ちくわ、さつま揚げなどが定番。牛すじはあまり使われない。



関西地方のおでん

- **特徴:** 「関西風おでん」や「関西煮」とも呼ばれ、あっさりした味わいが魅力。
- **出汁:** 昆布や鰹節を使った薄口醤油ベースで、色が薄く透き通った出汁。
- **具材:** 大根、こんにゃく、玉子、牛すじが多用される。地元特有の練り物も。



沖縄のおでん

- **特徴:** 沖縄ならではのユニークな具材が魅力。
- **出汁:** 鰹節や豚骨の風味が特徴的。
- **具材:** 豚足、ソーキ(豚のスペアリブ)、昆布、大根など。地域の食文化が反映されている。



女性経営者座談会 Vol.7

12月12日、女性経営者座談会取材したいと、かねてから依頼がありました日刊建設タイムズ社の宇田川記者の取材を受けながらの座談会となりました。

参加メンバーは、分会長の高山貴子氏(本田土木工業(株))石神千谷氏(高根建設(株))

柴田久恵氏(土佐工業(株))堺千種氏(カネケン京葉コミュニティ(株))星名千子氏(福葉水道(株))

菅井詠津子((株)中川組)の6名

この日は、建災防の優良事業所見学会も実施され、早朝から西船橋に集合し、JERA横須賀火力発電所を見学。

お昼に三崎のまぐろづくしをいただき、横須賀軍港めぐり観光。帰路は渋滞に巻き込まれながらお台場のイルミネーションに輝くガンダムの足元にある公衆トイレに寄り西船橋まで帰ってきました。

その後、船橋の本田商店へ移動。疲れるかなと思いましたが、さすが女性経営者のパワーは凄いです。

宇田川記者の取材:「どういった経緯でこの会が発足されましたか?」

2019年から2020年にかけてカネケン京葉コミュニティの堺社長、高根建設の石神社長、そして中川組の私菅井と、女性の新社長が続けて誕生しました。

右も左もわからない私達3人新社長に京葉分会会長、本田土木の高山会長が、編集委員への参加をお声がけくださいました。

コロナ禍真っ最中、人と会う事がままならない不安ばかりの時に声をかけて頂きました。これがきっかけです。

初回の座談会の時の話は、今でも笑い話です。

不安しかなかった私が「私には無理い〜(泣)」と、半べそをかいた事。今では「騙されたっ!」と。

その後もゴルフ経験のない私がいきなりコンペに参加すると言ったり、ゴルフクラブを買いに高山会長を市川まで呼びつけ買い物に付き合わせたうえ、送らせた。等々。(本当にありがとうございました。)

心の広い高山会長、子育てや冊子のけんせつ姫の発行など多忙な中でも頑張って社長業をされている柴田社長に色々と教えて頂き、この座談会も回数を重ね、福葉水道の星名さんも参加されるようになり、にぎやかになって行きました。

今では、お互いを親しみを込めた下の名前で呼び合うようになり、プライベートで旅行にも行くくらい仲良しになりました。

色々と話が脱線ばかりの私たちへの取材はとても苦労されたと思います。

気取る事なく、いつもの私達を見て頂けたと思います。

今回は取材を受けた私たちの様子をお届けしました。





発見！ あなたの近くの素敵なお店

今回はJR船橋駅から徒歩5分!!
路地裏にある船橋の隠れ家的イタリアン
Pizzeria Bar Trico 船橋店をご紹介します。
薪釜で焼き上げる本格ナポリピッツァや
30種ほどのワインが楽しめます。
店内には白い大きな石窯があり
とても雰囲気のある素敵なお店です。
船橋にお越しの際には是非お立ち寄りください。

Pizzeria Bar Trico 船橋店

- ☎ 047-401-5755
- 📍 船橋市本町1-11-12ウインクレスト1F
- 🕒 17:00~23:30 平日
- 🕒 14:00~23:30 土日祝
- 📱 @pizzeria_bar_trico



出 会 い

今年この歳になって念願の娘ができました!!
女の子のいるママ達をいつもうらやましいと思っていました。
娘と一緒に旅行したり、お芝居観に行ったり、恋バナしたり...これからは少しそういったこと味わえるかな!と思える人生に係る嬉しい出会いでした。この出会いは私にとって大きな価値ある事だと思っています。

「人が生きているのは神様が必要だと思っているから生かされているのだ」という言葉を時折耳にしますが、出会いもまた偶然の出会いというよりはやはり神様のお導きの元、出会っているのではないかな...

夫婦になったり、親友になったり、仕事のパートナーであったり、時には何かに対する敵であったり、出会って色々な形でお付き合いしていくうちに、何かしらの影響を受けて、自分自身をまた相手を成長させて行くのではないだろうか。

今回この雑感の記事のテーマをあれこれ考えている中で、この数年の自分に起こったことで、一番大切な出来事だったのは何か?それはたくさんの方々との出会いではなかったのかと改めて考えました。

特にコロナの始まった頃より、悲しかったり、寂しかったり、辛かったり、といういくつかの別れがありました。

そしてまたそれと同時に素晴らしい出会いもたくさんありました。
尊敬できる方、共感できる方、頼りにしたくなる方、親身に

なったださる方、面白い方、可愛い方、可愛らしい方...

今まで私の周りにはいなかったような方々との出会いもたくさんありました。

その時は自分にとっての試練の時と思って、早く3年も4年も経ってくれたら、少しは良くなっているのではと思いながらこの数年過ごしてきましたが、その中で本当に多くの素晴らしい出会いに恵まれ、まんざら試練の時ではないのかも、出会いの時だったのかもと思えるようにもなりました。

今日までやってこれたのもその方々のおかげです。

人と出会うという事は人生にとって、刺激であり、向上心であり、心を豊かにするものであり、喜びを生むものであり、時には悲しみを生むものかもしれませんが、かけがいのないことであることは間違いありません。人生振り返って小さいころから現在に至るまで私という人間を生み育ててくださった多くの方々との出会いに、心から感謝します。

またこれから先の素敵な出会いに大きな期待と幸福感を持って、前向きに頑張っていこうと、2025年も素晴らしい出会いがあることを楽しみにしている今日この頃です。



事務局からのお知らせ

行事予定

- 1月23日 安全祈願祭(成田山新勝寺)
- 4月 定例理事会、編集委員会
- 5月16日 通常総会(浦安ブライトンホテル)
- 6月 6日 全国安全週間実施要領説明会
- 6月20日 定例理事会
- 6月中旬 第1回建設現場ノバトロール
- 7月 7日 千葉県建設業労働災害防止大会
(京成ホテルミラマーレ)

発行所

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会
市川市東菅野5-13-21 京葉建設会館内
TEL:047-338-0888 FAX:047-338-0889
発行人:高山 貴子 編集責任者:小原 智

ホームページURL

<http://www.kensaibo-keiyo.com/>



E-mail

info@keiyokk.com



令和6年度 建災防京葉分会・建設業協会京葉支部合同研修会(高知市桂浜)